

(公) 高崎経済大学

地域政策学部
地域づくり学科

キャリア教養学科 (橘高校出身)

Q1.編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学当初から考えていました。高校の先生からも、桜の聖母は編入に強いと聞いており、さらに専門的または実践的に学びを深めたいという想いから、チャレンジしたいと考えました。

Q2.編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年の後期から聖母アワーという授業で就職志望と編入志望に分かれるようになります。講義の中で、志望大学探しや小論文対策、英語対策などを受けます。

Q3. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年の後期から、聖母アワーの授業内での編入対策に加え、自主的に小論文や英語の対策に取り組み、何度も添削を受けました。2年の夏休みからは、ゼミ顧問の先生だけではなく、他学科の先生方にも面接練習を申し込み、自分の自信に繋げていきました。

Q4.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

力を入れたのは面接です。短大での学びや編入先で取り組みたいこと、将来についてしっかり固めました。小論文については、時事問題に強くなるため、新聞記事に対して自分の意見を書くという練習を、1年の冬から取り組んでいました。

Q5.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

座学はもちろんボランティアや学生会サークル活動への参加といった実践的な学びを身につけることが出来たことです。そのことが面接でも強みになったと感じています。

Q6.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

面接で自分の熱意を伝えるということです。面接の中で私は特に自己アピールする部分や強い意志を伝える部分が苦手だったため、先生方の様々なご指摘を受け、少しずつ自信をつけることができました。

Q 7.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・

④合格した時の気持ちを書ける範囲で教えてください。

①高校の時は自分の将来のビジョンは全然イメージできていなかったもので、短大で学びながら見つけていきたいという想いでした。

②高校の時とは異なった、幅広い分野において実践的に学びを深めていきたいという期待に満ちていました。

③できるだけ対策を行ってはいましたが、もう少し早い時期から始めていれば、と強く後悔したのを覚えています。

④私が志望した大学は、他大学に比べて受験者数も多かったため、合格したことに驚くと共に、とても喜びを感じました。

Q 8.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

桜の聖母短期大学は、学科を問わず、教職員の方との距離が近く、手厚くサポートもしていただけるので、自分の学びたいことや進路について向き合うことができます。しかし、最終的には自分にかかっているのので、添削指導や学内外活動に積極的な姿勢で取り組み、謙虚にコツコツと頑張ってください！